

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月14日

東

上場会社名 KPPグループホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 9274 URL <https://www.kpp-gr.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 田辺 円
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 足立 章之郎 (TEL) 03-4431-7215
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 320,699 | 19.2 | 12,299 | 221.8 | 11,067 | 163.1 | 9,186 | 163.6 |
| 2022年3月期第2四半期 | 269,133 | — | 3,822 | — | 4,205 | — | 3,485 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11,968百万円(77.9%) 2022年3月期第2四半期 6,727百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 127.87 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 48.54 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値になっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 320,706 | 67,684 | 21.1 |
| 2022年3月期 | 290,707 | 56,374 | 19.4 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 67,610百万円 2022年3月期 56,291百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 5.00 | — | 9.00 | 14.00 |
| 2023年3月期 | — | 9.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 11.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 650,000 | 15.4 | 21,000 | 123.9 | 18,500 | 109.2 | 15,000 | 100.1 | 208.77 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年3月期2Q | 73,244,408株 | 2022年3月期 | 73,244,408株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 1,388,226株 | 2022年3月期 | 1,410,953株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年3月期2Q | 71,844,209株 | 2022年3月期2Q | 71,815,405株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は2022年12月7日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスによる人手不足や物流の停滞、ロシアのウクライナ侵攻を起因としたエネルギー価格の上昇によって世界的な高インフレを招き、欧米の中央銀行では金融引締め政策に舵を切っています。

また、中国においても、ゼロコロナ政策の影響による経済の停滞や民間企業の抑制など、景気の下振れリスクが一段と高まっています。

一方、我が国経済におきましては、新型コロナワクチンの接種が進み、個人消費に回復の兆しが見られ、設備投資や公共投資もプラスに転じたことで全体を押し上げました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,206億99百万円（前年同期比19.2%増）となりました。営業損益においては、営業利益は122億99百万円（前年同期比221.8%増）、経常利益は110億67百万円（前年同期比163.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は91億86百万円（前年同期比163.6%増）となりました。

②当期のセグメント別概況

事業別の業績につきましては、次のとおりであります。

<国内拠点紙パルプ等卸売事業>

当第2四半期連結累計期間において、紙分野では新型コロナウイルス感染拡大に落ち着きが見られたものの、グラフィック用紙の需要回復は限定的であり販売数量は前年を下回りました。売上高は販売価格の修正や円安による輸出価格の上昇を受け前年を上回りました。

一方、板紙分野では、段ボール原紙はEコマースによる宅配事業や飲料用包装資材向けの販売は引き続き堅調に推移したものの販売数量は前年を下回りました。紙器用板紙は一部需要の回復に兆しが見られ、販売価格の修正要因も加わり、売上高は前年を上回る結果となりました。

製紙原料分野では、古紙の発生量が減少する中、堅調な需要によって販売価格が上昇し、販売数量・売上高ともに前年を上回りました。パルプについても、国内家庭紙メーカー向けの需要は減少したものの、輸出の拡大と販売単価の上昇によって売上高は前年を大きく上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,336億75百万円（前年同期比7.9%増）となり、営業利益は36億11百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

<海外拠点紙パルプ等卸売事業>

<ヨーロッパ>

欧州事業はロシアによるウクライナ侵攻の終息が見えない中、ウィズコロナによる各種イベントの復活やタイトな需給関係によって、業績は好調を維持しました。特にペーパー事業は、数次にわたる価格修正に伴う市況価格の上昇によって売上高は前年を大きく上回りました。また、パッケージ事業は好調な需要に支えられ、堅調に推移しました。ビジュアルコミュニケーション事業も屋外広告や車両グラフィックの需要が増加し業績を押し上げました。

<オセアニア>

オーストラリアは一連の現地企業買収効果と各セグメントの市況好転によって、売上高は前年を上回りました。

ニュージーランドは供給不足による販売機会のロスがあったものの、総じて業績の底上げによって好調に推移しました。

<東南アジア>

東南アジアは、シンガポール、マレーシア、タイを中心にマーケット全体の動きが鈍く、価格競争による販売価格の低下が見られました。他方、グループ企業の再編統合によって営業利益は改善したものの、売上高は前年を下回りました。

<中国>

年初より実需が乏しい中、ロックダウンによる断続的な都市封鎖が影響したことによって紙・板紙の需要は低迷し、販売数量・売上高ともに前年を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の海外売上高は1,864億31百万円（前年同期比28.9%増）となり、営業利益は102億87百万円（前年同期比273.8%増）となりました。なお、海外売上高比率は58.1%となりました。

<不動産賃貸事業>

全国主要都市のオフィスビル市場は、新型コロナウイルス感染拡大以降上昇基調にあった平均空室率は、企業のオフィス拡張意欲が緩やかに改善しつつあるものの、依然として力強さには欠き、先行きは不透明な状況にあります。また、賃料相場については、テナント確保のための賃料調整などから弱含みで推移しております。

当社グループにおきましては、一部テナントビルの管理体制見直しによる増収があったものの、賃貸駐車場の再開やKPP八重洲ビルのテナント入れ替えによる空室期間の発生などから賃料収入が減少し、前年比で減収・減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億92百万円（前年同期比4.8%減）となり、営業利益は58百万円（前年同期比32.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、売上債権、棚卸資産等が増加し、前連結会計年度末に比べ299億99百万円増加し、3,207億6百万円となりました。

負債額は、仕入債務、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べ186億89百万円増加し、2,530億21百万円となりました。

純資産額は、親会社株主に帰属する四半期純利益等により、前連結会計年度末に比べ113億10百万円増加し、676億84百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は21.1%となり、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の連結業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日（2022年11月14日）発表の「2023年3月期 連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,634 | 20,375 |
| 受取手形及び売掛金 | 111,168 | 117,150 |
| 電子記録債権 | 15,797 | 15,951 |
| 商品及び製品 | 51,270 | 71,861 |
| その他 | 14,830 | 13,691 |
| 貸倒引当金 | △5,177 | △5,797 |
| 流動資産合計 | 210,523 | 233,231 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,333 | 6,541 |
| 土地 | 9,268 | 9,231 |
| その他（純額） | 18,593 | 20,818 |
| 有形固定資産合計 | 34,196 | 36,591 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 4,508 | 7,939 |
| その他 | 4,739 | 5,390 |
| 無形固定資産合計 | 9,248 | 13,329 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 17,028 | 16,930 |
| 退職給付に係る資産 | 16,518 | 16,632 |
| その他 | 13,331 | 15,832 |
| 貸倒引当金 | △10,139 | △11,841 |
| 投資その他の資産合計 | 36,738 | 37,553 |
| 固定資産合計 | 80,183 | 87,474 |
| 資産合計 | 290,707 | 320,706 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 90,743 | 99,813 |
| 電子記録債務 | 3,760 | 3,887 |
| 短期借入金 | 26,615 | 50,300 |
| コマーシャル・ペーパー | 11,000 | — |
| 未払法人税等 | 1,264 | 3,343 |
| 引当金 | 4,359 | 4,442 |
| その他 | 32,421 | 37,600 |
| 流動負債合計 | 170,164 | 199,387 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 42,622 | 30,120 |
| 退職給付に係る負債 | 4,616 | 4,180 |
| 引当金 | 569 | 623 |
| その他 | 16,359 | 18,710 |
| 固定負債合計 | 64,167 | 53,634 |
| 負債合計 | 234,332 | 253,021 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,723 | 4,723 |
| 資本剰余金 | 7,292 | 7,292 |
| 利益剰余金 | 38,225 | 46,752 |
| 自己株式 | △535 | △527 |
| 株主資本合計 | 49,705 | 58,241 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,480 | 3,281 |
| 繰延ヘッジ損益 | △112 | △113 |
| 為替換算調整勘定 | △782 | 3,390 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 4,000 | 2,810 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,586 | 9,368 |
| 非支配株主持分 | 82 | 73 |
| 純資産合計 | 56,374 | 67,684 |
| 負債純資産合計 | 290,707 | 320,706 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 269,133 | 320,699 |
| 売上原価 | 225,188 | 260,670 |
| 売上総利益 | 43,944 | 60,029 |
| 販売費及び一般管理費 | 40,122 | 47,729 |
| 営業利益 | 3,822 | 12,299 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 66 | 18 |
| 受取配当金 | 221 | 258 |
| 持分法による投資利益 | 72 | 30 |
| 為替差益 | 362 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 737 | 65 |
| その他 | 322 | 382 |
| 営業外収益合計 | 1,782 | 754 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 876 | 915 |
| 売上債権売却損 | 8 | 318 |
| 為替差損 | — | 381 |
| その他 | 514 | 371 |
| 営業外費用合計 | 1,399 | 1,987 |
| 経常利益 | 4,205 | 11,067 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 29 | 624 |
| 投資有価証券売却益 | 125 | — |
| 減損損失戻入益 | 187 | — |
| 違約金収入 | 164 | — |
| その他 | 13 | — |
| 特別利益合計 | 521 | 624 |
| 特別損失 | | |
| 事業構造改善費用 | 326 | — |
| 固定資産除却損 | 39 | 24 |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | — | 7 |
| 投資有価証券売却損 | 2 | — |
| その他 | — | 12 |
| 特別損失合計 | 368 | 44 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,358 | 11,647 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 942 | 2,635 |
| 法人税等調整額 | △76 | △174 |
| 法人税等合計 | 865 | 2,461 |
| 四半期純利益 | 3,493 | 9,185 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 7 | △0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,485 | 9,186 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,493 | 9,185 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △373 | △199 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 859 | 4,073 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,725 | △1,190 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 17 | 99 |
| その他の包括利益合計 | 3,234 | 2,782 |
| 四半期包括利益 | 6,727 | 11,968 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,719 | 11,969 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 7 | △0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|-------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 国内拠点 紙パルプ等 卸売 | 海外拠点 紙パルプ等 卸売 | 不動産賃貸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 123,863 | 144,647 | 622 | 269,133 | — | 269,133 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 2,959 | 136 | 13 | 3,109 | △3,109 | — |
| 計 | 126,822 | 144,784 | 635 | 272,243 | △3,109 | 269,133 |
| セグメント利益 | 2,447 | 2,752 | 86 | 5,286 | △1,463 | 3,822 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,463百万円は、セグメント間取引消去△9百万円及び全社費用△1,454百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|-------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 国内拠点 紙パルプ等 卸売 | 海外拠点 紙パルプ等 卸売 | 不動産賃貸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 133,675 | 186,431 | 592 | 320,699 | — | 320,699 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 3,860 | 293 | 13 | 4,168 | △4,168 | — |
| 計 | 137,535 | 186,725 | 606 | 324,867 | △4,168 | 320,699 |
| セグメント利益 | 3,611 | 10,287 | 58 | 13,957 | △1,658 | 12,299 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,658百万円は、セグメント間取引消去△13百万円及び全社費用△1,644百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外拠点紙パルプ等卸売」セグメントにおいて、2022年4月29日付で当社連結子会社である Antalis S.A.S. の事業会社である ANTALIS GmbHによるBB Pack GmbH、Cr8packaging GmbH (BB Packの子会社) 及びPrintmate GmbH (上記3社をまとめて「BB Pack Group」という。)の全株式を取得に伴い、3社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの計上額は、当第2四半期連結累計期間において2,588百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。